



令和五年 長月

城北中だより

城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

令和五年8月29日発行

「応援される人」になるために～「挨拶」から始めよう～

校長 和田 卓也

夏季休業日が終わり、学校が一気に活気づいてきました。休期中無彩色であった校内が、一気に色づいたようで、生徒のいる学校はいいなと心から思います。例年以上の酷暑の夏でしたが、皆様、いかがお過ごしだったでしょうか。私は、校内を巡回するたびに、ほぼ毎回、カブトムシに出迎えてもらえたことで、本校の恵まれた自然環境を改めて実感させられました。それがきっかけとなり、現在、校内の池の整備について考えているところです。



20匹近くのカブトムシと出会いました

2学期のスタートにあたり、今回の始業式において、表題のテーマで話をしました。これは、いくつかの部活動において「応援されるチームになろう。」「支えてもらえる人になろう。」という声掛けが行われていたことに感銘を受けたからです。これから「自立」していく生徒たちの前には、自分の力だけではどうしても解決できない困難も待ち受けています。そんな時、「自分を応援してくれる人」と出会えることができれば、きっと大きな力となるはずです。ちなみにコミュニケーションの基本である「挨拶」のポイントは、「決まった場所で決まった相手」にする挨拶から、状況に応じて「いつでも、どこでも、誰にでも」にできる挨拶に変わることです。2学期のテーマとして取り組んでいきたいと思えます。

さて、話題は変わりますが、現在、2学期より、「スクリレ」という学校と保護者の連絡手段をデジタル化するサービスを提供するアプリを活用した「連絡手段のデジタル化」に向けた準備を進めております。きっかけはPTA役員の皆様の負担軽減を目的に、連絡手段のデジタル化についてご相談を受けたことです。他校の状況等も含め、様々な調査をおこなったところ、様々なメリットが見えてきました。具体的には①学校とPTAの双方から、それぞれ連絡（手紙等の資料配信）や、保護者への個別連絡、アンケート配信が可能となることで、PTAだけでなく学校においても業務改善が見込めること。②保護者としても手紙類がデジタル化されることで、保護者は、いつでもどこでもスマートフォンで手紙等を見ることができるようになり、情報が届きやすくなること。③アプリを活用するため学校やPTAが保護者のメールアドレスやSNSアカウント等の個人情報について登録や管理をする必要がないこと。また、連絡が他のメールに紛れてしまうことがないこと。④保護者がアプリ上の広告を閲覧するとPTAにポイントが付与され、学校の備品等に交換できること。などが挙げられます。

現在、9月中の開始に向け、校内で最終調整を行っているところです。詳細については、後日お配りのお手紙をご参照ください。今後の予定としては、9月・10月の2か月を試行期間とし、これまでの取組と併用して「スクリレ」を活用することで、その効果を検証し、そのうえで11月より正式運用を行う予定です。なお、契約はPTAとして行い、費用としては、生徒1人あたり、年間200円程度を見込んでおります。保護者の皆様におかれましては、今後、配付される手紙に基づいた登録等の対応につきまして、ご協力いただきますようお願い申し上げます。